

特集

拡大版あなたの まちの図書館めぐり

西ノ島町コミュニティ図書館	2
津和野町立日原図書館	3
雲南市立大東図書館	4
島根県立大学松江キャンパス図書館	4
知夫村立知夫小中学校図書館	5

○ 図書館の上手な使い方 本の取り寄せサービス活用法	6
○ お知らせ	8



との縁結び

島根県立図書館報

<http://www.library.pref.shimane.lg.jp>

図書館だより

2020

第212号

2020年3月10日発行



特集 オープン& リニューアルオープンしました!

～拡大版あなたのまちの図書館めぐり～

2018年
7月に図書館が
オープン!

西ノ島町コミュニティ図書館 「誰もが行きたくなる、みんなの集う家」



2018年7月、西ノ島町に待望のコミュニティ図書館(愛称「いかあ屋」)がオープンしました。別府港から車で約8分、役場や警察署などがある浦郷地区にあります。木造平屋建てで建物面積は約1000㎡、図書スペースの他、キッチンスタジオやギャラリー、飲食可のカフェスペースなどを併設。図書館としての空間だけではなく、「みんなの家」として、それぞれの時間を自由に過ごせるよう作られています。みんなが参加する図書館づくりを重視し、オープンまでに町民からの意見を求めるワークショップや、図書館への関心を高めるイベントを企画。誰もが行きたくなるような場所を目指し、町民とともに準備を進めました。オープンからわず

か3ヶ月で来館者1万人を達成し、貸出冊数は前年の公民館図書室の頃と比較すると1年間で約3倍に増えました。*

土間で靴を脱いでメインの図書スペースに入ると、手前に児童コーナー、奥に進むと一般コーナーがあります。他にも、大人がゆったりと本を読む「書斎」、掘りごたつのある「いこいのへや」、ピンクの壁をキャンパスにしてお絵かきができる「こどものへや」、中高生が未来について考える本と郷土資料がある「みらいのへや」などがあります。日本や世界の離島に関する資料を集めた離島コレクションがあるのも島の図書館ならではの。



西ノ島町図書館では、「本」だけではなく、島で長く暮らす「人」こそ、貴重な地域資料になると考えています。そこで、職員が地域の人々にインタビューをし、その様子を動画などの資料にして残す活動を行っています。活字化したものは『にしのみま ひと・もの・がたり』として館内で展示し、動画はタブレット端末でみることができます。また、一部の動画をホームページでもみることが可能です。観光で訪れる人たちに西ノ島を知ってもらうのはもちろ

んのこと、暮らす人たちも自分たちの町を誇りに思える資料の一つとなれば嬉しいとのことでした。

公民館図書室時代から勤めている司書の真野さんに伺うと、職員は日頃から利用者に寄り添った対応を心がけているそうです。赤ちゃん連れの親子がいれば、本をゆっくり選べるよう職員が赤ちゃんを抱っこしたり、まるで親戚のように親身に接しているとのこと。図書館に行けば、温かく出迎えてくれる人がいる。その安心感が、みんなが集まる大きな理由なのだ取材をしていて思いました。

※『島根県公共図書館年報』より

西ノ島町コミュニティ図書館

開館時間: 10時～19時

休館日: 水曜日

貸出冊数: 10冊まで(新刊3冊・AV資料3点まで)



書斎



いこいのへや

今号では「あなたのまちの図書館めぐり」拡大版として、新しくなった図書館を紹介します。島根県ではここ1,2年、新築、改築、改装される図書館が増え、ちょっとしたオープン・リニューアルオープンラッシュです。島根県立図書館の職員は県内市町村の図書館などを年2~3回訪問し、スタッフの方々と直接お会いして情報交換を行っています。新しい図書館を訪ねるときはどんな図書館になっただろうかと、より一層わくわくしながら訪問します。このわくわく感をぜひ一緒に味わってください。そして近くにお出かけの際には、ぜひ立ち寄ってみてください。

2019年
7月に新図書館
オープン!

津和野町立日原図書館 「新しいまちのにぎわい創出拠点」

2019年7月1日、古民家と蔵を活用し高津川沿いに整備された「日原にぎわい創出拠点かわべ」の一角に、日原公民館から移転・新築された日原図書館がオープンしました。

新しい図書館は、外観も内装も、白い壁とこげ茶色の建材ですっきり整えられた古民家風の建物で、石州瓦の大きな屋根が高津川の対岸の9号線からでもよく目立ちます。窓の方角や空調の工夫によって、夏は涼しく冬は暖かい、快適な居心地になったそうです。



入口では、スリッパに履き替えて館内に入ります。新着図書コーナーや蔵書検索用のコンピュータの前を通過すると左側にカウンターがあり、右側には背の高い書架が整然と並んでいるのが見えてきます。たくさん本の迫りに圧倒されますが、天井が吹き抜けになっていることで、開放感のある空間になっています。児童書や絵本のコーナーは、スペースが十分に確保され、絵本も赤ちゃん向けや科学絵本などの種類別に分けるなど、選びやすくしてあります。



館内はフローリング

一般資料の書架が並んでいるところから壁で仕切られた一角に足を踏み入れると、郷土資料コーナーや参考図書コーナーがあります。隠れ家のような落ち着いた雰囲気なので、ソファや一人用の閲覧席でじっくりと本と向き合うのにぴったりです。おしゃれなスリット窓から川が眺められる席は、すぐに埋まってしまうそうです。



参考図書コーナーの閲覧席

入口からすぐのところに、雑誌のブラウジングコーナーは、ぐっと明るく、椅子の鮮やかな水色も印象的な、カフェのような雰囲気です。四人掛けのテーブル3台の他に畳のコーナーもあり、月に一回程度ボランティアさんによる絵本の読み聞かせが行われています。このブラウジングコーナーのサッシ窓を開けると、「かわべ」の古民家カフェとの間にある芝生に出ることができます。図書館が休館の日でも、「かわべ」でイベントがあるときは、ブラウジングコーナーだけ可動式の壁で仕切って、開放することもできるそうです。



ブラウジングコーナー

旧図書館があった場所からは550メートルほど離れたただけですが、町の中心部に移転したため、郵便局や銀行などに出かけたついでに立ち寄る方が増え、観光客がカフェ帰りにふらりとやってきたりするなど、以前と比べて幅広い層の方が利用されるようになったとのことでした。

装いも新たに町の中心にオープンした日原図書館。思い思いの席でじっくり読書をしたり、わくわくするひとときを過ごせる場所になりました。これまで以上に親しまれ、新しいまちのにぎわいを生み出していくことでしょう。



高津川に面した大きな窓

津和野町立日原図書館

開館時間：9時30分～18時

休館日：毎月末日(土・日・祝日にあたる時は直前の平日)

年末年始(12/30～1/4)

貸出冊数：1人10冊まで(AV資料は1人1点まで)



2018年6月に
リニューアル
オープン!

雲南市立大東図書館 「また来たいと思える図書館を目指して」

雲南市大東地域福祉センターおおぎ内に、雲南市立大東図書館が仮移転したのは、2010年です。その後の検討の結果、そのままの場所で、2018年6月24日に正式にリニューアルオープンしました。

大東地域福祉センターおおぎの玄関を入って右側に、図書館があります。明るい木目の扉の上に手作りの看板があり、中に入ると、明るい空間が広がっています。以前よりも照明が増え、床材と書架も明るい色の木材にしたそうです。広さも1.5倍になり、学習室兼多目的室が増設されて、無料Wi-Fiを使うことができる学習閲覧・PC利用席も増えました。



図書館と他施設を繋ぐ通路スペースでは町民の作品展示もしています。ここでは飲食可能なので、お昼ご飯を食べたり飲み物を飲んだりして、ゆっくりと過ごすこともできます。

面積が広がったことで書架の間も広くなり、利用者からは本が見やすくなり、選びやすくなったと言われるとのこと。ブラウジングコーナーも広がってゆったりと寛ぐことができるようになりました。また、以前はスペースがなくて書庫に仕舞っていた郷土資料を出して郷土資料のコーナ

ーを充実することもでき、利用者にも喜ばれているそうです。

赤ちゃん絵本・読みかたりコーナーにはゆったり過ごせるようマットを敷き、授乳室も整備しました。月2回の読みかたりやわらべうたあそびを行う「こぐまちゃんくらぶ」には毎回たくさんの親子が来られ、終わるとゆっくり本を選んで帰られるそうです。

ほっと一息つける場所、ふらっと来て、ふらっと過ごして、また来たいと思える図書館を目指して、居心地の良さを追求したという大東図書館。ぜひ気軽に来てくださいとのことでした。



「こぐまちゃんくらぶ」多目的室にて

雲南市立大東図書館

開館時間: 10時~18時

休館日: 毎週金曜日、祝日、年末年始、図書整理日

貸出冊数: 10冊まで

2019年3月に
新図書館
オープン!

島根県立大学松江キャンパス図書館 「島根を担う人材を育てる」



レンガ色の建物が立ち並ぶ、島根県立大学松江キャンパス。正門から入って左側の、建物と建物の間を抜けた広場の奥に、新しい図書館があります。

館内は天井が高く、明るく広々としています。実際、面積は以前の図書館の約2.3倍になったそうです。収容冊数も以前の10万冊から15万冊に増え、約10万冊の所蔵資料が、余裕をもって収められています。後方には集密書架による開架書庫があり、全ての本を手にとることができるようになっていました。席数も60席から130席と倍増し、学生の滞在時間も長くなったそうです。また大学図書館らしく、ラーニングcommonsというグループ学習

やディスカッションに対応できる、学生の自主的な学習を支える空間が4部屋用意されています。

図書館では学生図書委員会が活動しており、現在は29名の委員が、直接書店へ行って本を選ぶ選書ツアー、「図書館新聞」の発行、「読書マラソン」などのイベントや展示を企画しています。またその活動を、FacebookなどのSNSで発信したり、図書館総合展やしまね大交流会に参加し、ポスターセッションで報告したりしています。今

知夫小中学校図書館(知夫村図書館) 「島の未来を育む学び舎」



隠岐郡知夫村は、人口643人、高齢化率44.8%(2019年8月現在)の小さな島。その島の真ん中にある唯一の学校が、知夫村立知夫小中学校です。2017年11月、校舎の1階に新しい図書館がリニューアルオープンしました。小学1年生が楽しめる絵本も、図鑑も、授業で使う本も、進路に悩む中学生の参考になる本もあります。木製の書架がゆったりと配置され、窓から光が降り注ぐ明るい館内です。

これまで村には図書館施設がなく、島内各



地区のバス停や集会所に書架を置いて図書の貸出を行っていました。そこで、せっかく新しくなった小中学校図書館をみんなに利用してもらおうと、平日午後と土曜日に一般開放することになりました。学校の玄関を通らず、校庭から直接図書館に入れるよう新たにドアも設置しました。入口すぐの「地域交流室」にはお茶も準備し、みんながほっと集える場所を目指しています。ふだん学校にはあまり縁のない方も、学校に足を運び関心を向けてもらえるようになりました。また、子どもたちにとっても、学校生活の中で自然と、地域の方と交流できる場所が増えました。

ワークショップなどの活動も活発に行っています。2019年11月には、絵本作家のいわいとしおさんと田中清代さんをお招きしたイベント「100かいだてのいえとトマトさん」を開催。島内・島外から79人もの参加者が集まって、図書館に笑顔があふれる一日になったそうです。

村民みんなの宝物である子どもたちの集まる学校に、村民みんなで使う図書館ができました。たくさんの本と人との出会いが、島の未来につながっています。

「知夫村図書館」一般開放日

開館時間：平日13時～18時、土曜日13～17時
休館日：日曜日

年は新図書館を紹介し、学生・教職員293名にとつたアンケート結果も報告しました。アンケートによると、「図書館を利用したことがある」人の割合が旧図書館は68%、新図書館は91%と、23%も増えたそうです。

島根県立大学松江キャンパスは2018年に、従来の短期大学部に加えて4年制の人間文化学部が創設されました。それに伴い、図書館も論文検索などの利用者教育により一層力を入れていきたいとのこと。これからも島根を担う人材育成に一役買う図書館であることでしょう。



集密書架



島根県立大学松江キャンパス図書館

開館時間：授業期間 8時45分～20時
休業期間(夏季、冬季、春季)9時～17時
休館日：毎週土・日曜日、祝日、毎月第4金曜日、
夏期(8/13～15)、年末年始

本の取り寄せサービス活用法

ご存じですか? 図書館間ネットワークによる 本の取り寄せサービス

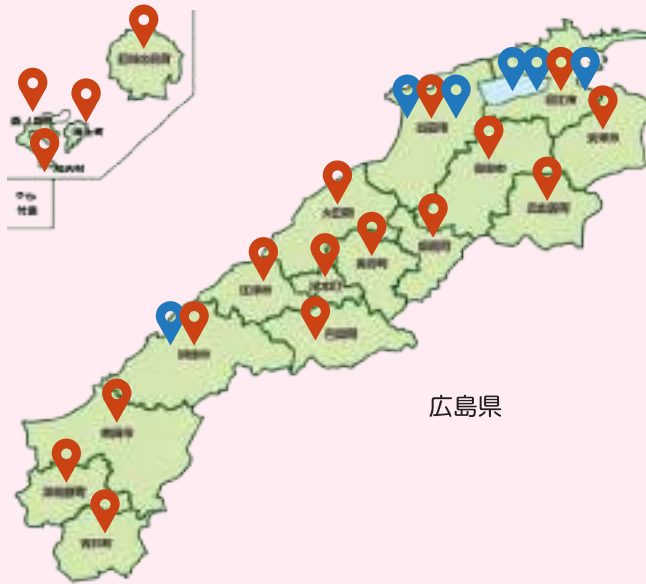
島根県内19市町村の図書館や大学図書館は、「お互いさま」のネットワークで連携しています。地元の図書館に所蔵していない本も、県立図書館や、ほかの市町村図書館から取り寄せることができます。このように図書館同士が協力して行う本の貸し借りを「相互貸借」とよびます。

※貸出禁止の本など取り寄せができないこともあります
※各図書館のルールに従って利用してください

連携マップ

- ・大田市立図書館 (3館)
- ・江津市図書館 (2館)
- ・浜田市立図書館 (5館)
- ・益田市立図書館 (2館)
- ・かわもと図書館
- ・美郷町立図書館
- ・邑南町立図書館 (3館)
- ・津和野町立図書館 (2館)
- ・吉賀町立図書館

- ・海士町中央図書館
- ・西ノ島町コミュニティ図書館
- ・隠岐の島町図書館
- ・知夫小中学校図書館



- ・安来市立図書館 (1館1室)
- ・松江市立図書館 (3館)
- ・雲南市立図書館 (3館)
- ・出雲市立図書館 (7館)
- ・飯南町立図書館
- ・奥出雲町農村環境改善センター図書室

- ・島根大学附属図書館 (本館、医学図書館)
- ・島根県立大学図書館 (松江キャンパス、出雲キャンパス、浜田キャンパス)
- ・松江高専図書館

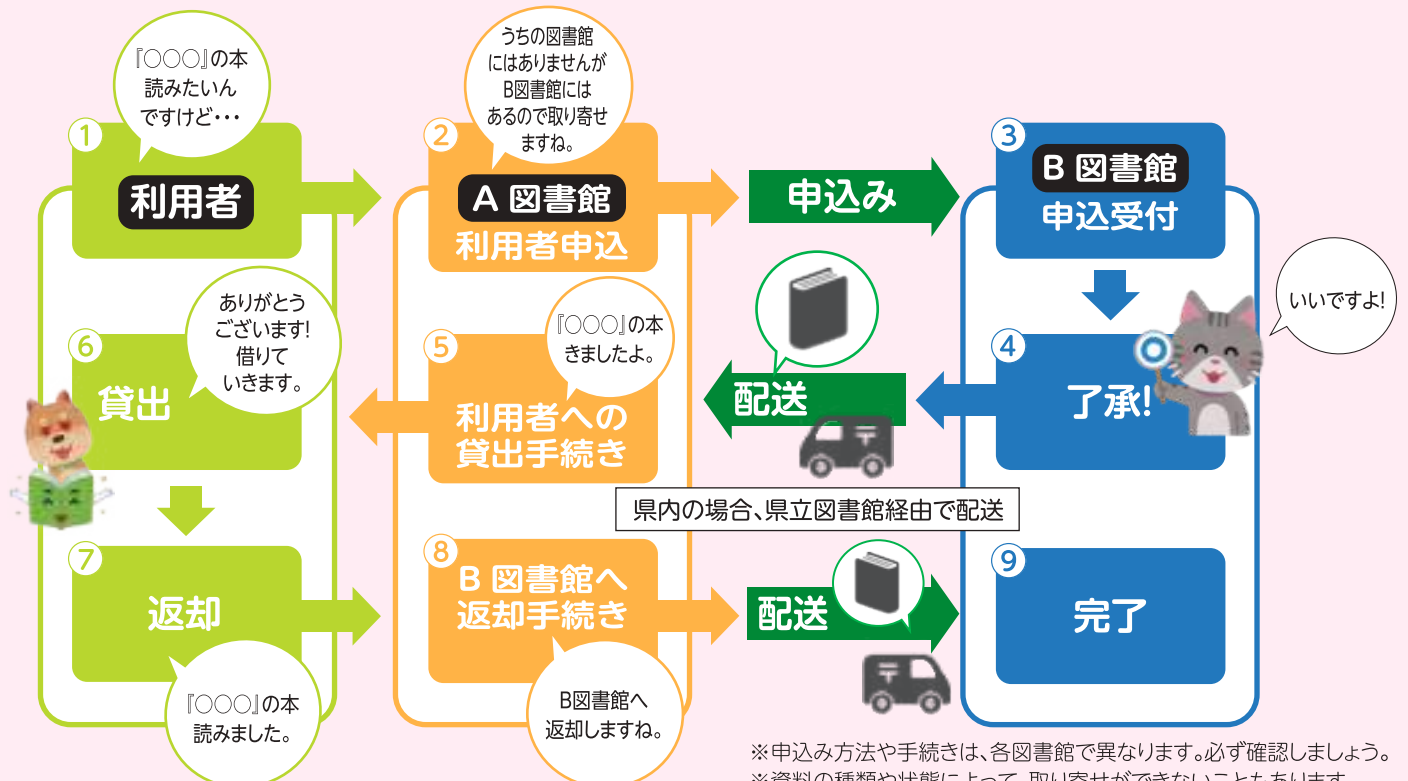
相互貸借の流れ



地元のA図書館に所蔵していない『○○○』の本が読みたいのだけれど…



B図書館にあるらしい!



※申込み方法や手続きは、各図書館で異なります。必ず確認しましょう。
※資料の種類や状態によって、取り寄せができないこともあります。

本の探し方! — どの図書館にあるのかな? —

方法1 : 自分で探す～島根県立図書館ホームページの「蔵書検索」で探してみる～

① 島根県立図書館には、どんな本があるの?

【簡単検索(ホームページトップ画面検索窓)】

とりあえず、知りたいことが書いてありそうな本を探し出すときに使うと便利です。

入力したキーワードが内容情報と一致する本を検索します。
(例)石見神楽のことが知りたいのだけど、いい本ないかなあ

キーワード:石見神楽

【詳細検索】

探したい本がハッキリしているときや、複数の条件があるときに使うと便利です。書名、著者名、出版社など一致させたい項目を指定して検索します。

(例)小泉八雲の雪女の本

書名:雪女 × 著者:小泉八雲
条件を掛け合わせて検索できます



② 島根県内の図書館には、どんな本があるの?

【横断検索 | 県内の図書館で探す】

県内の市町村図書館、大学図書館の資料をまとめて検索します。
検索する図書館や地域を指定することもできます。

方法2 : 図書館に聞いてみる「～の本はありますか?どの図書館にありますか?」

図書館の司書が、本探しをお手伝いします。

県立図書館の参考資料室にご連絡ください。電話、FAX、メールなどでもご相談に応じます。

もちろんカウンターでもお気軽にお問い合わせください

【島根県立図書館 参考資料室】

電話(0852-22-5739) FAX(0852-27-3458) HP(相談する>メールレファレンス申し込み)

解説

図書館用語

相互貸借(ソウゴタイシャク) 図書館が利用者の求める資料を自館に所蔵しておらず、購入できなかったり、その図書館の収集方針に適さないときに資料を他館から借り受けたり、資料の複製の提供を受けたりして利用者に提供すること。ILL(アイエルエル) Inter-Library Loan、**図書館間貸出**(トショカンカンサダシ)ともいいます。

『最新図書館用語大辞典』図書館用語辞典編集委員会、柏書房、2004

外国語資料コーナーが広くなりました!

島根県立図書館では多文化サービスの推進のため、外国語資料コーナーの充実を図っています。

このたび、1階ホールにある外国語資料コーナーを拡充し、資料を新たに222冊購入しました。また、日本語学習用の資料も随時購入していますので、日本語や日本の文化を学びたい方がお近くにいらっしゃいましたら、ぜひ当館をご案内ください。

外国語資料購入リストは当館ホームページにてご覧いただけます。

島根県立図書館トップページ > 資料の紹介 > 外国語資料(foreign books)

▶ http://www.library.pref.shimane.lg.jp/?page_id=912



購入資料の内訳

英語／53冊 ポルトガル語／50冊 ベトナム語／48冊
タガログ語／45冊 ドイツ語／23冊 フランス語／3冊

I N F O R M A T I O N

島根県立図書館 利用案内

- 開館時間／火～金 9時～19時(3月～10月)
9時～18時(11月～2月)
土・日・祝日 9時～17時(通年)
 - 休館日／毎週月曜日(休日の時は開館)
第1木曜日、年末年始、特別整理休館
- ※詳しくは開館カレンダーをご覧ください。

〒690-0873 島根県松江市内中原町52
TEL. 0852-22-5733(図書) / 5725(事務)
FAX. 0852-22-5728
ホームページ <http://www.library.pref.shimane.lg.jp/>

人と人の縁結び 図書館だより は、

本を読む楽しみを味わえるビジュアル情報誌です。
しまねの、本・人・図書館にまつわる話題をお届けします。
皆さんの「本のある暮らし」を応援します。

島根県立図書館報
図書館だより 第212号
2020年3月10日発行
編集・発行／島根県立図書館



島根県立図書館イメージキャラクター
ぶっくまんとしおりちゃん